

# 北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



関門大橋  
門司港布刈より下関市展望



NPO 法人 北九州テクノサポート

〒800-0003 北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-783-1453 FAX: 093-783-1453

E-Mail: npo-kts@npo-ktsorg.jp

URL: http://www.npo-ktsorg/

Vol. 9

平成19年度 夏号

## NPO 法人 北九州テクノサポート

会長 小川 勝



北九州テクノサポートも NPO 法人化して、今年5年目を迎えました。このような節目の時に、秦前会長の後任として突如、会長を務める羽目となりました。秦前会長のような全方位的な資質に乏しく、椅子が大きすぎて困惑している状況ですが、中小企業の皆様や、県、市、関係団体、大学等の支援の下、会員全員でこれまで積み重ねてきた実績をバネに活動の場を更に広げていきたいと思っております。

組織上の7部会の活動は、部会の守備範囲を広く公義に捉え、部会の枠に拘らない柔軟な取組み・展開を志向してきます。会員の皆様には、活動に関する情報をメールを軸として提供して、事業に参画する機会を得やすいように、そして専門性を発揮できるように努力してまいりますので、積極的なご協力をお願いいたします。

九州テクノサポートとして、持てる力をフルに活用できる、取組むことができるような体制を目指してまいりますので、関係各位の皆様におかれましても倍旧のご支援・ご協力、並びにご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## Topics.1

### 平成19年度 北九州テクノサポート総会を開催

平成19年6月7日(木)に北九州テクノセンター(北九州市)におきまして、平成19年度総会が開催されました。冒頭、秦会長の挨拶、並びに議長選出し、次の3つの議案について、すべて異議なく了承されました。

第1号議案(平成18年度事業報告)

第2号議案(平成19年度事業計画)

第3号議案(役員選出)

### 平成18年度事業報告

平成18年度に実施した主な事業は下記のとおり。

金属プレス成形金型産学連携研究会(福岡県) TLOライセンス活動業務(FAIS) 中小企業支援センターへ相談員及び専門家派遣(FAIS) モノづくり企業連携情報調査業務(北九州市) 北九州産業技術史解説文業務(北九州市) 北九州地域環境関連企業訪問調査業務(北九州市立大学) エコ・テクノ企業訪問コーディネート事業業務(山口大学) ISO 9001 内部監査員研修(1社) エコアクション21実践講座業務受託(共催)(北九州市) エコアクション21地域事務局福岡業務受託(財)地球環境戦略研究機関) IT支援講座(まちづくり支援) 企業および大学、公的機関への派遣 県中小企業振興センター その他情報発信

### 平成19年度事業計画

平成19年度は、「モノづくりの支援を通じて、産業振興をはかり、まちづくりに貢献する」を理念とし、企業及び行政機関や公的機関、大学・高専等と連携を密にして、ニーズに即応した支援や協力・派遣・調査、研究会等を通じ、プロモーターとして役割を果たしてまいります。

具体的には、中小企業の環境経営をサポートする「エコアクション21認証取得支援」を、地域事務局を中心に積極的にすすめ、また「ISO認証取得」および環境産業政策への全面的な支援と協力を推進します。さらに北部九州自動車150万台生産拠点化構想が具体化するにあたって「人材の育成」は急務ですので、関係機関と協力し支援してまいります。「モノづくり」支援では既存分野をベースに、企業への「専門家派遣」や「ECO商品の販売支援」を行うとともに、自動車関連産業情報等での協力や企業のIT化に関しては、現場に即した活動を行ないます。さらに中小企業の皆さんに対しては、訪問活動等を通じニーズや情報収集に努め、即応した実効ある支援、協力活動に取組みます。

一方、福岡県、佐賀県、大分県、北九州市周辺近郊の自治体や中小企業の皆さんには、活動をPRし企業ニーズに対応できるよう推進いたします。また、活動を広く展開するに当たって、60才前後のかたがたへ会員参加を呼びかけてまいります。



NPO-KTS 会員有志一同

#### 役員名簿

平成19年7月1日現在

|             |                            |
|-------------|----------------------------|
| <b>会長</b>   | 小川 勝                       |
| <b>事務局長</b> | 尾形 昌彦                      |
| <b>副会長</b>  | 石川 浩、小野 晃一、<br>小林 敏郎、尾形 昌彦 |

#### 支援部会長

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 事業部会            | 小川 勝  |
| 技術・経営支援部会長      | 小野 晃一 |
| 産学連携支援部会長       | 石川 浩  |
| ISO・EA21支援部会長   | 小川 勝  |
| ECO支援部会長        | 島谷 哲雄 |
| IT支援部会長         | 安東 静  |
| 広報部長            | 重藤 将美 |
| <b>EA21事務局長</b> | 藤原 成種 |

#### 理事

|      |      |          |      |
|------|------|----------|------|
| 安東 静 | 石川 浩 | 磯村福義     | 尾形昌彦 |
| 小川 勝 | 小野晃一 | 小林敏郎     | 後藤禎二 |
| 重藤将美 | 島谷哲雄 | 竜口康文     | 鳥越年高 |
| 秦 吉昭 | 藤原成種 | 監事: 増田幸一 |      |

平成19年6月18日臨時理事会により、会長の選出並びに事務局長・副会長・各部会長の上記の通り決定されました。



平成19年度 NPO-KTS 総会風景



NPO-KTS 懇親会風景

## Topics.2



来賓挨拶：福岡県商工部 部長 石井俊弘 様

貴会におかれましては本県の産業振興にご尽力いただき厚くお礼申し上げます。これまで産学連携・技術移転支援、相談員専門家派遣事業など、様々な活動に取り組んでられました。これもひとえに秦会長並びに会員に皆様のご尽力の賜物であり、深く敬意を表します。今後共、これまで培われた豊富な経験と幅広い人脈を生かし行政はもとより、大学や中小企業の方々との連携を更に高められ、地域経済の持続的発展に向けより一層活発な活動を展開されますよう心より期待いたします。

さて県では自動車関連産業について平成15年2月より北部九州自動車100万台生産拠点プロジェクトを進めて参りましたが、昨年末に100万台を目標より前倒しに達成することが出来ました。これに先立ち昨年8月には、新たに北部九州自動車150万台生産拠点化構想を策定し150万台の生産に加え、地元調達率70%の達成、アジアの最先端拠点、次世代の車開発拠点の4つの目標を掲げ、官民を挙げた取り組みを一層加速させたところです。

トヨタ自動車九州のエンジン工場増産計画や部品工場の新設、日産車体の組立工場建設決定、ダイハツ工業のエンジン工場新設決定など、更なる生産拡大が見込まれる中、地元企業の自動車産業への進出を強く支援してまいり所存です。

自動車をはじめとするものづくり産業の振興につきましては平成16年7月に設立しました「福岡ものづくり産業振興会議」を通じて大手自動車メーカーO Bなどを活用し生産改善指導などを実施し、県内のものづくり産業の生産性向上への取り組みや人材育成、技術・技能の継承などを強力に支援しているところです。その他、中小企業の方々に対して無担保の資金面での支援の他、県工業技術センターをはじめとして産学官協力による技術開発支援、経営面の改革などに関する指導など経営革新や新たな事業分野への進出を支援致しております。これらの分野におきましても北九州テクノサポート皆様の日頃の活動、ご協力が県産業を大きく支えるものであると強く考えておりますので今後とも、ご協力を宜しくお願い致します。

代読 新産業・技術振興課 課長補佐 小原 康弘

## 各支援部会の活動状況

### 技術・経営支援部会

部会長 小野晃一

#### 1. 北九州イノベーションギャラリー開設準備への協力

(産業技術保存継承センター)

平成19年4月21日に八幡東区にオープンした北九州イノベーションギャラリーの「年表のギャラリー」に展示する新日鉄、TOTO、安川電機、ゼンリンなど地元企業の産業技術史や技術史年表の作成に協力した。



産業技術保存継承センター 全景



年表のギャラリー

#### 2. エコ・テク/2006における山口大学の展示に協力

山口大学による北九州地区の企業との連携強化に向けた活動を支援。

地元企業54社の概要調査と同大学の紹介。



北九州市国際貿易センター会場

### ISO・EA21支援部会

部会長 小川 勝

#### 1. 企業支援及び普及活動

- (1) エコアクション21 普及セミナー実施  
北九州市、佐賀市、下関市に講師派遣。
- (2) 北九州市の委託によるEA21実践講座(後期)を実施。
- (3) 北九州地区EA21審査人、インストラクター及び地域事務局福岡の合宿研修会実施(8/24,25)
- (4) EA21たより・瓦版No2発行



EA21 北九州セミナー

#### 2. 関係機関・団体に対する渉外活動

- (1) 北九州市、佐賀市、下関市の環境部門と、自治体イニシアティブプログラムに関する打合せ協議。

- (2) 北九州市環境局と、EA21実践講座(前期・後期)日程調整協議。

#### 3. EA21地域事務局福岡

- (1) H19年1月～7月まで判定委員会を毎月1回開催。全認証登録数は累計で76件(うち北九州市39件)。
- (2) EA21運営委員会開催

### E C O支援部会

部会長 島谷 哲雄

地球温暖化防止施策ニーズ等が高まる順風下で、当部会員がもつ省エネ、廃棄物・リサイクル、等の専門技術の活用機会が増大しています。前年度は「北九州企業の環境技術調査」は、他支援部会員の協力で達成しました。

### 産学連携支援部会

部会長 石川 浩

#### 「金属プレス成形金型産学連携研究会」の活動状況

本年3月末日にて3年間の研究会活動を終えH19年3月2日にH18年度の活動状況並びに成果報告会(最終報告会)を福岡県中小企業振興センター(多目的ホール)にて開催し、約60数名が参加した。

#### 開会挨拶

福岡ものづくり産業振興会議 高木 郁夫 会長  
福岡県商工部 自動車産業振興室 今村 修二 室長

#### 第1部 特別講演

「金属プレス成形を取り巻く最近の技術動向」

講師(独)理化学研究所 研究員 林 央 氏

#### 第2部産学連携研究会活動の成果報告

##### 2-1. 「産学連携研究会共同研究活動概要報告」

NPO法人 北九州テクノポート理事 石川 浩

2-2. 「自動車部品・金型のCAE解析技術の動向と実部品への適用例」  
北九州市立大学国際環境工学部 教授 松本 絃美

2-3. 「板成形シミュレーション先端解析手法の自動車部品への適用事例」  
ADA社 代表取締役社長 三宅 昌昭



研究成果報告会風景



特別講演会風景

#### 北九州TLOライセンス活動業務の推進

北九州TLOが保有する技術シーズの移転活動をFAISより受託し北九州市内の中小企業を初めとして展開し実績を挙げつつある。

平成19年度も引き続き「ライセンス活動」を行っていますので、各企業の皆さん方におかれましては是非ご利用ください。

なお、連携TLO(山口・農工大・熊本・鹿児島・大分・広島・北九州・九州工業大学)の技術シーズの紹介も行っております。

### IT支援部会

部会長 安東 静

コミュニティビジネス事業化支援事業受託によりはじめた工業団地等に出かけて講習する「中小企業の業績改善に役立つパソコン講座」6回目を4月に開催。

#### NPO・ホームページのページ貸し

HPを持たない中小企業の皆様が費用・管理面でHPを持つことに踏み切れない面を支援することを目的として、KTSのHPに載せる(ページを貸す)活動を開始。

## Topics.3



### 来賓挨拶：財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長 阿南 惟正 様

貴会におかれては、地域企業支援や産学連携支援のコーディネート活動など、幅広く活躍され、北九州の産業振興に大いに貢献されております。県内唯一のエコアクション21地域事務局の活動はもとより、昨年は「金属成形金型産学連携研究会」の活動が日刊工業新聞社主催の「第1回モノづくり連携大賞」の特別賞を受賞されるなど、その取り組みは高く評価されています。また本年4月にオープンしたイノベーションギャラリーの目玉である産業技術史の編纂には大変な貢献を果たしました。

私も財団の中小企業支援センターでも貴会員の皆様には、窓口相談や専門家派遣にご活躍いただいております。昨年連続で900件を超え、販路拡大の支援では5社が約1.1億円の売上げ増加となっております。

また国内の一大生産拠点となりつつある自動車産業の台頭に対応し、一次部品メーカー地元企業50社の訪問調査を行なうなど、自動車産業への新規参入や需要拡大の支援にも力を入れてまいりました。

当財団の活動拠点である北九州学術研究都市は、今年でオープン7年目を迎え、現在、研究者数200名、学生数2,200名、進出企業は半導体関連を中心として45社にのぼり、これまでの立上げ・基盤固めの段階から、いよいよその成果を社会へ送り出していく段階へ入りました。これからも産学官のネットワーク作りを強化し北九州市の産業振興・地域振興に貢献していく所存ですので、皆様方のご支援とご協力をお願いします。

世情いわれているように団塊世代の大量定年退職は、中小企業にとって技術・技能の継承や人材育成が急務であり、皆様方の果たす役割は以前にも増して重要になっていると思います。企業OBとしての豊富な経験や技術・専門知識を生かして今後更に大きな力を発揮して頂くことを期待しています。

## 特別講演

## Topics.4



### 特別講演：株式会社 戸畑ターレット工作所 代表取締役社長 松本 敏生 様

演題：「新たな挑戦」 自動車産業分野への参入

- 1. 運命の出会い：**現場指導によるトヨタ生産方式の研修会が開催され、その結果「工程間の在庫をいかに減らし、早く換金すべきか」を指導(10箇所 1300万円の在庫が指摘)された。あらためてトヨタの強みを体感することとなった。
- 2. 決断までの過程：**従来の住宅部品は多品種で国際競争にさらされており、電力部品は技能伝承が難しく厳しい。メタルグッズ事業部の先行きも明るくない。これらの課題から成長分野である自動車産業分野参入をめざし、現場のモノづくりの基盤をこの分野に期待できることが最大の魅力である。時代の流れを読むことが大切であり、経営者の覚悟として「重き荷物を背負って高き山に登ろう」と2005年に参入を決意し、人材を外部から3名補強した。鑄造・切削加工技術からアルミダイキャストへ参入を決めた。
- 3. 行政の支援とトヨタの後押し：**申請から18ヶ月で立ち上げた。投資と行政の力添えが大きかった。またトヨタ自動車の「共に学ぶ姿勢」の人格に共感させられた。平井社長の言葉「材料ヤードに旗を立てよ」、雨澤副社長の「0.1の1秒を大切に」、「経営は良くても装備は後退である」と提言を頂いた。次期社長「清永副社長」に引継ぎ、会長として大所高所から経営全般の舵取りを行なう。

1時間半の熱弁でしたが、紙面の都合上割愛させていただきました。

## E A21 地域事務局福岡の活動状況

### エコアクション21地域事務局福岡

事務局長 藤原成種

#### EA21 平成19年度普及活動

- (1) EA21導入セミナー(IGESと共催)を佐賀市、下関市、大牟田市にて実施。北九州市は実施予定。
- (2) 北九州市、佐賀市、下関市、大牟田市に対し、自治体イニシアティブ・プログラム実施につき協議。
- (3) 県イニシアティブ・プログラムの実施につき福岡県と協議。
- (4) 自動車整備事業者の認証取得促進活動を新たに展開。
- (5) グリーン化プログラムの実施につき検討。
- (6) 中小企業団体等に対し、EA21説明会を2回実施。



EA21 佐賀市セミナー



EA21 下関市セミナー

#### EA21 認証・登録申請処理状況

- (1) 新規認証申請受理数累計 63件  
中間審査申請受理数累計 47件  
更新審査申請受理数累計 17件  
EA21支援部会所属の審査人を主体に審査担当に推薦・斡旋。
- (2) EA21地域判定委員会を毎月1回7回開催。全認証登録数は累計で76件(うち北九州市39件)。
- (3) EA21地域運営委員会を1回開催。



EA21 実践講座個別コンサル

## Topics.5



### 会長退任挨拶：NPO法人 北九州テクノサポート 理事(前会長) 秦 吉昭

このたび、会長を退任するにあたり、会員の皆様をはじめ関係の方々には一方ならぬご支援とご協力を頂き厚く感謝申し上げます。顧みますと、前TS会々長から今日まで、約6年間会長職を務めて参りました。特に法人化にあたっては五里霧中のスタートでしたが、如何にか明るい兆しも見えてきました。

年々業務委託などが増加し、特に「金属プレス成形金型産学連携研究会」は3年間のテーマで自動車産業関連を側面から支援し、昨年、日刊工業新聞社主催の「第1回モノづくり連携大賞」特別賞を受賞したことは、大きな励みです。環境問題と環境産業では市の政策に協力し、また北九州産業技術保存継承センターの設立にあたって協力して参りましたが、平成19年4月開館しました。中小企業向け環境経営を支援する「エコアクション21地域事務局福岡(EA21)」の発足では、北九州市や他の自治体と連携し活発に活動を展開しております。

今日まで、何かと支えて頂きました会員や関係の皆様にも重ねて感謝申し上げ、NPO法人北九州テクノサポートや皆様の益々の発展を祈念し、退任の御礼の言葉に代えさせていただきます。

謹白

### 株式会社 松島機械研究所

7月17日、磯村理事が同社本社工場を訪問、松島社長並びに川崎係長から懇切なお話を頂いた後、工場施設を見学しました。

#### 会社の沿革と概況

会社設立は昭和21年で今年60周年を迎えている。戦後日本の復興に大きく寄与した石炭産業の洗炭選別機が排除用ゲートの自動開閉装置開発販売が会社の基礎となった。

その後石炭を運搬するベルトコンベアー周辺機器、ホッパーの在庫管理レベル計、アクチュエータ制御機器の開発販売を積極的に展開し、かつこれらの設備技術を日々進化させる努力を社長、幹部が先頭に立って行っている。本年の業績は製鉄業に連動し堅調な見通しと思われる。

#### 今後の展望と課題

製鉄業のシンボルである高炉の操業安定化に不可欠な鉄原、コークス、副原料の装入分布を測定管理する高炉プロフィールメータの世界トップレベルメーカーである。

更なる高炉プロフィールメータの改善に産学連携を活用(九州大学)し、価格40%、装置重量50分の1、測定精度50mm 5~10mmに向上させラインアップしている。今後の販売拡大が期待される。

中国製鉄業の動向を伺いつつ、数年前から中国支店を開設、活動をしているが、安定収益の道筋を付けることが、近々の課題であろう。

#### KTSへの期待

国内外の技術研修者の受け入れ、KTS 専門家の派遣、先述の産学連携事業の積極的推進実績から理解ある良きパートナー企業として、認知できる。一層連携を深めたい。



社長 松島 徹



高炉プロフィールメータ



本社全景

#### 会社概要

本社:北九州市八幡西区則松461 TEL:093-691-3731  
 代表者:代表取締役社長 松島 徹 設立:昭和21年1月  
 事業内容:産業用レベル計測機器、電動操作機器、制御用機器、システム装置、コンベア周辺保護機器、環境計測機器の設計・製作・販売  
 主な製品:粉体・流体用レベル計、超音波レベル計、静電式レベル計、振動式レベル計、マイクロ波レベルスイッチ、圧力センサー  
 ・ベルトコンベアー周辺機器 ・アクチュエータ制御機器

URL:<http://www.matusimaco.jp>

### 株式会社 太陽インダストリー

7月12日、後藤理事が同社戸畑工場を訪問、松本取締役・事業部長並びに花田営業部長から懇切なお話を頂いた後、立山環境担当の案内で工場施設を見学しました。

#### 会社の沿革と概況

会社の設立は昭和33年、陶器用特殊包装資材を考案し、太陽紙器工業を発足してから49年、小倉工場、中津工場の事業拡大に伴い平成2年太陽インダストリー株式会社へと組織及び社名を変更、平成15年に段ボール製造部門を戸畑工場に集約し、翌年 EA21 認証登録を果たした。

北部九州地区の段ボール需要は大手企業の北九州離れに伴い年々減少の一途を辿っている。

#### 今後の展望と課題

自動車関連産業の北部九州地区への進出に伴い自動車部品の輸出梱包が増加し、ワンウェイの段ボールパレットの需要が増加している。段ボールは環境に優しい材料であることをアピールしているが、輸出条件としてISO14001 認証取得が必要となっており、1、2年後にISO14001 にチャレンジしたいと環境経営システム強化を考えている。

また、外部コミュニケーションの一環として、幼稚園・保育園向けの段ボール玩具(写真)等の商品を開発し普及に努めている。

#### EA21 認証取得とKTSへの期待

初めは、東陶、レンゴーからの動きかけがあり、EA21 にチャレンジしたが、従業員の環境意識向上と共に工場内の4Sが徹底され、労働災害がなくなった。また、原価意識向上もありコスト削減につながり、非常に有意義であった。

KTSは環境情報センターとしての役割を発揮していただきたい



#### 会社概要

本社 北九州市小倉南区湯川4丁目1-1  
 戸畑工場 北九州市戸畑区川代2丁目3-7 TEL: 093-884-2135  
 代表者 代表取締役社長 水口 真 設立 昭和40年7月1日  
 資本金 3億円 従業員 540名(うち戸畑工場56名)  
 事業:段ボールケースの製造販売及び包装、資材の販売・人工大理石製品  
 ・レジンコンクリート製品等の製造販売

URL:<http://www.taiyo-industry.co.jp>



#### 新事務局長の挨拶

この度、米沢前事務局長の後任として事務局長を務めるようになりました。北九州テクノサポートもNPO法人化5年目を迎えました。この間1歩ずつ実績を積み上げてまいりました。

しかし、各界・諸団体の皆様方からは、まとまりのある団体として一段の育成が求められています。ご要望にお答えするには、技術・研究開発支援、財政基盤の確立、人材確保、事務局の強化等々の課題があります。課題解決のため、本NPOの総力を結集した取組体制を目指すので、関係各位のご支援、ご協力並びにご指導をお願い申し上げます。

事務局長 尾形昌彦

#### プラス :「寄付金の優遇税制」

...企業や個人が、地方自治体や国、公益法人などに寄付した際に法人税や所得税が減額される仕組みで共同募金などの「指定寄付金」や一部の特定非営利活動法人(NPO法人)に寄付した場合も優遇の対象となります。(但し、当法人は対象になりません)

...個人が公益目的で寄付をした場合の優遇税制は2007年度改正で拡充され、総合所得の40%を限度に、一年間の寄付金の合計から5,000円を引いた額を所得控除できるようになった。政府は企業や個人が寄付しやすい環境づくりを進めている。

## 編集後記

北九州テクノサポートニュースをリニューアルしました。出来るだけ、各支援部会の事業活動内容が分かりやすくする努力をしました。会員並びに地域の中小企業・行政機関の方にも広く「北九州テクノサポート」をご利用下さるようお願い致します。  
 広報部長 重藤将美



詳細情報は下記ホームページから  
<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受け付中:ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。技術・経営の発展を支援します。

NPO 法人 北九州テクノサポート  
 会報「北九州テクノサポート通信 Vol.9」

平成19年8月10日 印刷発行

発行・編集:NPO 法人北九州テクノサポート

北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンター内

TEL/FAX:093-873-1453 E-mail:npo-kts@npo-kts.org.jp